

移住希望者向け

南阿蘇村

空き家・空き地バンク

制度の紹介パンフレット

南阿蘇へ移住をお考えでしたら、役場庁舎西側にございます
なんごう すてーしょん

南GO!!Station【南阿蘇村移住定住支援センター】まで、
お気軽にご相談ください。



【南GO!!Station外観です！こちらでお待ちしております♪】

開所時間 平日10時～16時 **ご予約の上お越しください。**

電話番号 090-4516-3341

空き家・空き地バンク制度の紹介は次ページから！



できること

物件の案内



スタッフが同行し、物件をご案内します。

物件所有者との顔合わせ・交渉



気に入った物件があれば、必ず物件所有者と顔合わせを行います。双方が納得すれば契約へと進みます。

補助金制度



契約後、**一定の条件のもと**改修費用の50%、最大100万円が補助されます。詳しくはお問い合わせ下さい。

移住後のサポート



移住後、地元の方たちと友好的な関係を築くきっかけづくりとして、地区の区長さんや住民の方々の紹介、移住者交流会等を企画しています。

できないこと

物件の案内



単独で物件を探して見学することはできません。

物件所有者との顔合わせ・交渉



契約に進んでも、私たちは交渉や契約に一切関与しておりません。自己の責任において契約方法や内容を決めて頂くこととなります。

補助金制度



条件を満たさない場合があるので、確約するものではありません。必ず改修に取り掛かる前にお問い合わせ下さい。

移住後のサポート



地元の方々の個人情報を一方的にお伝えすることはできません。

空き家・空き地バンク利用の流れ

利用登録



内見の予約



内見



顔合わせの予約



物件所有者とのマッチング

契約



移住



マッチングその前に



一、内見時に感じた疑問はメモに残っていますか？

せっかくのマッチングの機会も、聞き忘れがあっては判断に迷いが生じます。どのような判断をするにしても思い残しがないようにしましょう。



二、自己紹介を忘れずに

物件所有者は**思い出の詰まった家を手放します**。「どんな人なんだろう?」、「大切に使ってほしいなあ」、「ご近所とはうまく付き合えるだろうか?」と、心配事でいっぱいです。まずは自己紹介をして移住の想いを伝えましょう。きっと契約へ向けて前向きになってくれるはずです。



三、予算は余裕をもって準備する

欲しい物件が見つかって、いざ契約をとという局面で「**お金が用意できませんでした**」では元も子もありません。また空き家の**改修はほぼ必須**です。思いがけない補修箇所も出てくるつもりでいた方がいいでしょう。

更には移住を期に新たな仕事を始める方も少なくありません。仕事が軌道に乗るまで最低限の生活ができるのか、その辺りのことも考えておくべきです。



移住成功へ向けて



一、移住の目的をはっきりさせる

移住は目的のためのまだ途中です。移住後、何を達成したいのか、なぜ南阿蘇村なのかを明確にしておくこと、迷いや不安な気持ちは吹っ切れるはずです。



二、南阿蘇村の現実を知る

憧れの田舎暮らしとは言っても、街中の生活とは違うことだらけです。コンビニは徒歩5分ではないですし、車は1人1台必要です。防災無線が大音量で流れ、イノシシやたくさんの虫に悩まされ、時には火山灰も降ってきます。

写真や映像では分からないことだらけなので、村を訪れる際には観光客目線ではなく、そこで生活する村民目線で物事を捉えることは重要です。



三、集落の一員になる

移住後、ご近所付き合いが始まると昔から大切に守られてきた文化の継承や集落内の清掃作業等、意外と忙しい生活を送っていることを知ることになると思います。今まで見てきた南阿蘇の魅力ある風景は、地元の方々によって守られ、維持されているのです。これからはあなたにもその役割が回ってきます。



移住の事例

① 新規就農を目指すAさん



移住相談会等のイベントへ参加。村を訪れ農家の方とつながりを作りつつ就農に向けて勉強開始。農家の方を通じて個人的に空き家を紹介してもらい、研修を経て就農。



空き家・空き地バンクは一つ的手段にすぎません。人と人のつながりが強い南阿蘇だからこそ、きっかけを掴み良い関係を築くことができれば自然と道は切り開かれます。

② 田舎暮らしに憧れるBさんと街で暮らしたい奥様



奥様との話し合いができていないまま来村し内見を敢行。話が合わず徐々に陰悪なムードに・・・。



まずは家族の話し合いが大切です。交通・日常生活・子供の進学等の事情を解決しないままの移住は大変危険です。南阿蘇村は逃げませんので、じっくりと話し合ってください。

③ 物件だけを見て移住先を決めたCさん



家までの道が狭いし坂道だらけで運転が大変。夏は草刈りに追われ、冬は寒さで水道管が凍結。「こんなはずじゃなかった」(´・ω・；`)



内見時はつい物件だけに目が行きがちですが、この機会を逃さずに自身がその物件で生活する様を具体的に想像してみると、新たな発見があるかもしれません。

ただのいなかじゃーなかよ。



南阿蘇村